

# 森林病虫害等防除事業

松くい虫発生予察事業(環境森林部執行委任)

辻井貴弘

平成19年4月10日に三重郡菰野町田光、4月12日に志摩市大王町波切の山林から、マツノマダラカミキリの寄生木を採取し、林業研究部構内の網室に搬入した。採取林分の状況は表-1のとおりである。マツノマダラカミキリ幼虫の生育状況を把握するため、割材調査を成虫が脱出し始めるまで行い、それ以降は成虫脱出状況調査を7月中旬まで実施した。その結果は、表-2のとおりであった。

表-1. 採取地の概況

場 所	標高 (m)	方 位	樹 種	林 齢 (年生)	成立本数 (本/ha)
三重郡菰野町田光	170	—	クロマツ	12	1200
志摩市大王町波切	20	—	アカマツ	30	1600

表-2. マツノマダラカミキリの発育状況と脱出状況

調査地	蛹化初認	50%蛹化	脱出初認	5%脱出	10%脱出	50%脱出	脱出終了日
菰野町	5/2	5/7	5/24	6/1	6/4	6/11	7/4
志摩市	5/11	5/25	5/31	6/7	6/12	6/22	7/9

脱出成虫数 菰野町：76頭、志摩市：80頭